

令和7年8月22日

第75次 印旛地区教育研究集会
国語研究部「書く」分散会 提案資料

研究主題

書く活動を通して、生き生きと自分の考えを表現する児童の育成

— I C T機器の効果的な活用—

—資料編—

1 単元名 調べたことを分かりやすく書こう (主な教材：クラスの「不思議ずかん」を作ろう 教育出版)

2 本単元における言語活動

調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

(関連：[思考力、判断力、表現力等]B(2)ア)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は図や写真を用いて、調べたことを相手にわかりやすく伝える学習である。実際に拡大写真や地図など、資料を効果的に使い、紙面を工夫して図鑑を書いていく。

これまでも教材名「リーフレットで知らせよう」で、グラフや図などの資料を引用し、自分が伝えたい内容をわかりやすく伝えることを学習した。本教材『「不思議ずかん」を作ろう』では、写真を効果的に使って、書き手が見つけた「不思議」が何かを読み手に考えさせ、興味を引き付けている。写真も全体と部分の二枚を撮り、注目してもらいたいことが明確に伝わるようにしている。また、書き手が見つけた「不思議」の場所を示す地図も使われており、それぞれの資料が目的をもって配置されている。これらの資料を使うことで、読み手にわかりやすく伝わると同時に、書き手にとっても自分の伝えたいことを写真で示すことができ、書くことが明確になり、何を中心に書けばよいかわかりやすい教材である。

系統表の「B書くこと」における構成の検討については、第3学年及び第4学年では、「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮すること」と示されている。そして第5学年及び第6学年では、「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮すること」へと発展していく。

(2) 児童生徒の実態 (事前調査22名) 5月実施

	質問	とても そう思う	思う	あまり 思わない	思わない
1	進んで国語の学習に取り組んでいますか。	3	13	5	1
2	自分の思いや考えを書くことは楽しいですか。	4	8	6	4
	2で選んだ理由 (とても思う・そう思う) ・考えるのが楽しい。・思いや考えを書くことが好き。 ・(自分で考える) 作文が好き。・楽しい作品を書くのが好き。 ・自分の思いをみんなに伝えられるから。 (あまり思わない・思わない) ・何を書けばいいのかわからない。 ・うまく表現できない。 ・字を書くのが苦手。 ・時間がかかる。 ・楽しくない。				
3	授業中に進んで発表していますか。	3	10	9	0
4	他の人が書いた文を読むことは楽しいですか。	8	6	6	2
5	経験したことや想像したことなどから書くことを見つけてことができますか。	7	8	6	1
6	伝えたいことが相手にわかるように、文章の構成を考慮することができますか。	7	8	5	2
7	自分の思いや考えを書くことはできますか。	8	7	5	2
8	自分や友達の文章を読み、より良くなるように考えることができますか。	5	7	8	2
9	友達が書いた文章を読み、感想を伝えられますか。	8	7	6	1
10	読書は好きですか。	14	3	4	1

事前調査より、国語科の学習に意欲的な児童が多いことがわかる。「書くこと」についての質問では、約半数の児童が否定的な回答をしている。理由は、「何を書けばよいか分からない」「うまく表現できない」が多かった。日頃の様子を見ても、書くのに時間がかかったり、表現に苦労したりしている児童が少なくない。また、文字を書く事自体や漢字に苦手意識をもつ児童も多い。「授業中に進んで発表していますか」(質問3)は、肯

定的な回答が多く、授業中にも積極的に発言したり、自分の意見をノートに書いたりしている様子が見られる。自分の意見や考えを伝えたいという思いがうかがえる。また、「文章を読み、より良くなるように考えることができますか。」(質問8)は、肯定的な意見と否定的な意見が同程度であり、苦手だと感じる児童が少なくない。

前期に学習したリーフレット作りでは、資料を使いながら、自由な構成で伝えたいことを表すことができたので、文字を書くのが苦手な児童も意欲的に取り組んでいた。反面、自力で構成を組み立てられない児童もいたので、教師の見本や友達作品を参考にして、リーフレット作りを行った。

(3) 仮説との関わり

<仮説1>

書くことを明確にし、学習の見通しをもつことができれば、主体的に自分の考えを表現することができるだろう。

- ・学習に入る前に教室に様々な図鑑を用意し、図鑑の書き方に触れられるようにする。
- ・導入で作品例を提示して一冊の図鑑とすることを伝えたり、単元の流れがわかる掲示物を活用したりすることで学習の見通しをもたせる。
- ・「学校の不思議」についてのイメージマップを学級全体で作成し、選択肢を数多く出すことで、興味のある不思議を見付けられるようにする。

<仮説2>

効果的にICT機器を活用することで、生き生きと自分の考えを表現することができるだろう。

- ・書く内容が整理できるように、取材メモや写真などをタブレットPCに記録させ、一つの画面ですべての素材が見られるようにする。
- ・表現の仕方の手本となるように、図鑑を書く際に必要な言葉(「どこにあるか」「～のような」「まるで」「実は」等)をタブレット上に配信しておき、メモに加えられるようにする。
- ・作文の組み立てについての話し合いの際にもタブレットPCを使い、全体で画面を共有することで、話し合いが円滑に進むようにする。

(4) 指導観

本単元を通して、次の3つの力を子供たちに付けさせていきたい。「取材したり調べたりしたことをもとに、伝えたいことを明確にする力」「自分の考えと調べたこととの関係を明確にして、書き表す力」「相手意識をもち、興味を引くように工夫して文章を書く力」である。そして何より、子供たちが意欲をもって生き生きと自分の考えを表現できるように学習を進めていきたい。

そのために、上記の単元観と児童の実態を踏まえて、以下の手立てをもって指導をする。

① 学習の見通しをもたせ、意欲につなげる導入

本学級の児童は、「書くこと」に対して苦手意識をもち否定的な意見が多いことから、児童が学習の見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるようにしていきたい。そのためにはまず、学習に入る前に、教室に児童が興味を持ちそうな図鑑を置いておき、「図鑑づくり」に対する意欲を引き出し、図鑑のイメージづくりをしておく。また、書き出しの工夫や表現の面白さについて紹介し、たくさん見本に触れられるようにする。さらに、「不思議ずかん」を作って一冊の本にすること、図書室に置いて他の学年にも見てもらうことを伝え、相手意識や意欲につなげていく。

また、話し合い活動でも、導入の場面で話し合いの観点を提示したり、教師モデルの組み立てメモについて全体で話し合ったりすることで、お互いの組み立てメモについてどのような意見を出せばよいかを理解できるようにする。

② 思考ツールの活用

本学級の実態として、「書くことが思い浮かばない」という児童や自信がないために自分で書く内容を決められない児童がいる。学級全体でイメージマップづくりをすることで、「こんな不思議があるんだ」とアイデアをもらえたり、「こんな不思議でもいいんだ」と自信につながったりすると考える。

③ タブレットPCの活用

調べたい「不思議」が見つかった後は、自分で取材をしたり本やインターネットで調べたりしていく。

その際、取材メモや写真などをタブレットPCに記録させることで、後で一つの画面で見られるようにしていく。また、事前にこちらから「はじめ」「中」「終わり」で色を変えたカードを送ったり、「不思議に思ったこと」「写真」などの項目を記したカードを送ったりしておく。そうすることで、構成を意識してメモを書いたり、図鑑に必要な項目が漏れなく記録できるようにする。また、項目別にメモすることで、自分の考えと取材したり調べたりしたことの関係が明確になり、文章を書く際の工夫につなげられるようにする。

さらに、記録したものをつなぎ合わせたものを「組み立てメモ」とし、そのままグループでの話し合いで活かせるようにする。グループの話し合いでは、共有の画面を使ってそれぞれのメモを見合いながら良い所や改善点を見つけられるようにする。そこでの話し合いで、伝えたいことがより明確になるようにする。

④ 教師モデル（組み立てメモ）の活用

図鑑を書く段階では、教師のメモをもとに全体で意見を出しながら、図鑑の一部を作っていく。そうすることで、メモから作文への書き方のイメージが作られると考える。また相手の興味を引いたり、伝えたいことが分かりやすくなったりする書き表し方についても、多様な意見が出ると考えられるので、教科書の作品例以外にも触れられ、書くことが苦手な児童の助けになると考える。

4 単元の目標

- ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)オ
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 (2)イ	① 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ ② 「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 B(1)オ	① 積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。

6 指導と評価の計画 9時間扱い(本時6/10)

次	時配	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点)【方法】
第一次	1	○単元の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品例を提示し、身のまわりの不思議なことを探して紹介し、一冊の図鑑として編集すること、図鑑は図書室に置いて、全校児童が見られるようにすることを知らせる。 ・学習の進め方を見て、学習計画をたてる。 ・「学校の不思議」についてのイメージマップを学級全体で作成し、不思議を見付けられるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [主体的に学習に取り組む態度①] 観察 ・学校の「不思議」についてのイメージマップ作り、進んで取り組んでいる。 </div>

第二次	2	○図鑑に載せるものを決め、調べる。	・図鑑に載せるものを決め、疑問に思っていることを書き出し、調べたいことを決める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能①] タブレットPC、観察 ・比較や分類の仕方、必要な語句の書き留め方、引用の仕方や辞書や事典、インターネットの使い方を理解し使っている。</p> </div>
	3		・題材について取材する。(写真を撮る。気付いたことをメモする。インタビューをする。)	
	4		・インターネットで調べて、わかったことをメモする。 ・疑問や考え、取材して分かったことを項目ごとに分類して、タブレットに記録する。	
5 6 (本時)	○取材メモや写真を並べ、組み立てメモを作り、グループで話し合う。	・前時で集めた取材メモや写真を並べ、グループで見合い、気付いたことを伝え合う。 ・観点を明確にして、話し合えるようにする。(写真の選び方、言葉の使い方)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現②] タブレットPC、観察、振り返り ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。</p> </div>	
7 8 9	○メモをもとに、伝えたい内容の中心を明確にして、図鑑の原稿を書く。 ○原稿を読み返す	・作品例を提示しながら、図鑑の原稿の書き方について確認する。 ・グループで読み合い、興味をもって読める内容になっているか、伝えたいことが分かりやすく伝わる文章になっているかなどの観点で交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現①] 作文 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p> </div>	
第三次	10	○「不思議ずかん」を発表し合い、学習を振り返る。	・原稿について感想を伝え合う。 ・学習のねらいを確認し、どのような学習ができたのかを振り返らせる。	

7 本時の指導 (6/10)

(1) 目標

- ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。[思考力、判断力、表現力等]

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価(観点)【方法】	資料
10	<p>【見いだす】</p> <p>1 本時の学習と学習のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 相手に分かりやすく伝わるように、組み立てメモの内容を深めよう。 </div> <p>・話し合いの観点を確認する。 ①写真が分かりやすいか。 ②特徴(色、形、大きさ)が書けているか。 ③気付いたことが書けているか。 ④分かりやすい言葉で書けているか。(難しい言葉に説明をつけているか。)</p>	<p>・学習計画表を使いながら、本時の学習内容と課題について確認する。</p> <p>・「始め」「中」「終わり」のそれぞれの役割について確認する。 ・本時は特に「中」のメモについて話し合いことを伝える。 ・教師モデルを使って、全体で意見を出し合い、話し合いのイメージをつかめるようにする。</p>	<p>学習計画表 資料提示 PC</p>
20	<p>【広げ深める】</p> <p>2 グループごとに、組み立てメモについて話し合う。</p>	<p>・観点に従って友達の組み立てメモを見て、気付いたことを話し合い、メモに入力するようにする。</p>	

<p>10</p> <p>5</p>	<p>3 友達からの意見や、付け加えたことを発表し、全体で共有する。</p> <p>【まとめあげる】</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・分からない言葉やもっと詳しく知りたいこと写真から分かることなども伝え合うようにする。</p> <p>○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (思・判・表②)</p> <p>【タブレットPC、観察・振り返り】</p> <p>《「努力を要する」と判断した児童生徒への手立て》</p> <p>・友達の組み立てメモをどのように見たらよいか、観点や助言の例を提示する。</p> <p>・メモをさらに良くするために出たアドバイスを共有し、他の児童のメモづくりにも生かせるようにする。</p> <p>・本時の学習でついた力を、振り返りカードで自己評価し、意欲につなげる。</p> <p>・次時の学習についても確認し、見通しをもたせる。</p>	<p>振り返りカード</p>
--------------------	---	---	----------------

(3) 板書計画

<p>【振り返り】</p> <p>○伝えたいことが分かりやすく伝わるように、意見を言ったり、良い所を見付けたりできましたか。</p>	<p>【話し合いの仕方】</p> <p>①ポイントについて話し合う。</p> <p>(色を変える)</p> <p>②話し合いで出た意見を、自分のメモに入力する。</p>	<p>【話し合いのポイント】</p> <p>○写真が分かりやすいか。</p> <p>○特ちょう(色、形、大きさなど)が書いてあるか。</p> <p>○気付いたことが書けているか。</p> <p>○分かりやすい言葉で書けているか。</p> <p>(むずかしい言葉に説明がついているか。)</p>	<p>④</p> <p>「不思議すかん」を作ろう</p> <p>相手に分かりやすく伝わるように、組み立てメモの内容を深めよう。</p>
--	--	--	---

1 単元名 世界遺産発掘調査団「ミッション!!わたしたちの千葉県を世界遺産に!!」

(主な教材：世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう)

2 本単元における言語活動

意見と根拠の関係をおさえ、千葉県の中から世界遺産にしたいものを選び、意見文を書く。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ)

3 単元について

(1) 単元観

本単元では、読むことと書くことを密接に関連させ、意見文を書くという目的に向かって、様々な種類の資料から、世界遺産である白神山地の自然保護の実態や理念などの情報を読み取り、それを整理し、自らの立場や考えを決める。その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書くことをねらいとしている。ねらいを達成するため、情報の整理、自分の考えの過程の視覚化を図る「思考ツール」を活用していく。次に世界遺産にしたい場所やものを選び、多様な情報をまとめ、根拠を明確にした意見文を書いていく。

児童はこれまでに、4学年において、「ウミガメの命をつなぐ」を読んで興味をもったことを、要約して紹介する活動を行った。また、5学年の「言葉と真実」で、言葉と真実の関係について考えながら読む学習を行った。本単元の多様な情報を読み取り、自分の考えを深めることは、今後の6学年の「ぼくの世界、君の世界」での文章の要旨を捉え、筆者の述べる「心の世界」について考えることにつながっていく。そして中学校での「目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えた的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。」ことへとつながっていくと考える。

(2) 児童の実態 (事前調査18名) 4月実施

	質問	とても そう思う	思う	あまり 思わない	思わない
1	進んで国語の学習に取り組んでいますか。	8	10	0	0
2	自分の思いや考えを書くことは楽しいですか。	7	7	4	0
	2で選んだ理由 (とても思う・そう思う) ・書くのが楽しいから。・自分で考えられるから。 (あまり思わない・思わない) ・難しい。・書くのが楽しいと思わない。				
3	授業中に進んで発表していますか。	5	5	6	2
4	他の人が書いた文を読むことは楽しいですか。	6	10	2	0
5	経験したことや想像したことなどから書くことを見つけられますか。	4	12	2	0
6	伝えたいことが相手にわかるように、文章の構成を考えることができますか。	5	8	4	1
7	自分の思いや考えを書くことはできますか。	10	5	3	0
8	自分や友達の文章を読み、より良くなるように考えることができますか。	6	10	2	0
9	友達が書いた文章を読み、感想を伝えられますか。	11	3	3	1
10	読書は好きですか。	6	10	2	0

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組むことができる。しかし、話し合い活動になると、自分の意見に固執してしまう傾向がある。柔軟に他者の意見を受け入れながら、自分の考えを深めたり、広げたりすることがまだできていない。また、実態調査では多くの項目で肯定的な結果となったが実際に「ミニディベート」の単元では、根拠のあるデータを活用したり、意見や情報をまとめたりすることがうまくできない児童が多かった。このことから、作文用紙等を書きながら構成を考えさせるのではなく、思考ツールを用いて、内容を整理し、簡単な文で意見文の構成を理解させたい。また、意欲的に単元に入れるよう、週に1度、朝の会で世界遺

産を1つずつ紹介していく。児童に世界遺産がどういったものなのか知るために動画を見せ、親しみをもたせる。

(3) 仮説との関わり

〈仮説1〉

書くことを明確にし、学習の見通しをもつことができれば、主体的に自分の考えを表現することができるだろう。

・教師モデルの提示

教師モデルを提示することで、書くことが明確になり、単元の見通しをもつことができる。完成のイメージがもてることで意見文に必要な情報の選択や情報の活用について考えながら読み解こうという意識づけができる。

・相手意識をもたせる単元のゴールの設定

4年生に伝えるということ意識させることで、自分たちが昨年度学習した社会科の内容を想起することができたり、下学年が理解できる言葉を選択する気持ちからわかりやすい文章につながったりすることができる。

〈仮説2〉

効果的にICT機器を活用することで、生き生きと自分の考えを表現することができるだろう。

・canva や Chat GPT などクラウドサービスの活用

ICTを活用して、班で共同作業を可能にすることができる。拡大したワークシートや小さいホワイトボードを班で活用して共同作業をするよりも一人一人の意見が書きやすく、色付け、フォントの大きさ、下線など自分の考えを表現しやすくなる利点がある。

・原稿用紙設定の活用

紙の原稿用紙で行うよりも加除訂正が行いやすく、推敲する際に友だちの意見を聞きながら直すことが可能になる。また、Teams のフォルダに入れることで、教師側がすぐに確認したり、コメント機能を活用して訂正のポイントを伝えたりすることができる。

(4) 指導観

単元や児童の実態から、以下の手立てを講じる。

本単元では、「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」の学習から学級で班ごとに意見交換会を開催する。次に自分で世界遺産にしたい場所を選び、多様な情報をまとめ、意見文を書く。その際、4年生の社会科で学んだ千葉県についての学習と関連づけ、教科横断的な学習にする。単元の最後には、4年生へ発表するという言語活動を行うことで、相手意識が生まれ、わかりやすくするための構成や聞き手を納得させる根拠、言葉選びがより切実感のあるものとなり、意見と根拠をおさえることができる。意見文を書く目的が生まれることから、書くことへの意欲が向上し、知識技能の習得につながると考える。

選択する楽しみや伝える喜びを感じさせるために千葉県の中から世界遺産にしたいものを選ぶ。意見文を「はじめ」「中」「終わり」の構成で組み立てられるようにしていく。文章を書くのが苦手と感じている児童や構成が組み立てられない児童もいるため、意見文の構成・根拠の整理が視覚化できるよう、フィッシュボーンやバタフライチャート、PMI表(思考ツール)を活用する。毎時間ミニ意見文を書き、友達と考えを交流し合い、お互いの感じ方の違いや共通点を認め合う活動を通して、自分の考えに自信がもてるようにしていく。毎時間の最後に意見文の加除訂正を行わせていき、意見文の構成、推敲について理解させる。

4 単元の目標

- 原因と結果など情報との関係について理解できる。 [知識及び技能] (2) ア
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実や感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) ウ
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) エ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果など情報との関係について理解している。(2) ア	①「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実や感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B (1) ウ ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B (1) エ	①粘り強く多様な文章や資料を読み比べて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって意見文を書き、友達と交流しようとしている。

6 指導と評価の計画 11時間扱い(本時9/11)

次	時配	学習活動	指導上の留意点	評価規準
第一次 (1)	1	○教師モデルを提示し、学習の見通しをもつ。 ○学習の最後に「世界遺産発掘調査団～千葉県世界遺産プロジェクト～調査報告会議」を開催し、意見を交換し合うことを理解する。	・NHKの動画をみて、白神山地がどのような場所なのかをイメージできるようにする。	(主体的に学習に取り組む態度) ①【発言】 ・「多様な情報」とは、どのような情報なのかを知り、本単元の学習の見通しをもとうとしている。
	1	○白神山地の二つの文章を読み、自然保護の方法について知る。	・段落や接続語に注目させて、理解を深める。	(主体的に学習に取り組む態度) ①【観察】 ・粘り強く多様な文章や資料を読み比べている。 (知識・技能①)【発言・カード】 ・原因と結果など情報との関係について理解している。
第二次 (4)	2	○教科書の様々な立場の資料から自分の立場を決め、意見文の構成を理解し、意見文を作成する。	・自然保護の特徴を思考ツールに分類し、まとめる。 ・相手に伝えるための、根拠や理由が明確になるように意識させる。	(思考・判断・表現②)【観察・カード】 ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。 (思考・判断・表現②)【カード】 ・事実や感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書いている。
	1	○グループで考えを出し合い、自分の考えを深める。	・一方的な考えではなく、多面的に考え合わせることを意識させる。 ・色々な意見を認め合い、感想を共有する。 ・積極的な意見が交換できるような雰囲気を作る。	(主体的に学習に取り組む態度) ①【観察・カード】 ・学習の見通しをもって意見文を書き、友達と交流している。

第三次 (6)	1	○自分たちの住んでいる千葉県を世界遺産にするために、調べ学習を行い、意見文を書くことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録の基準を知り、場所やものの決定材料や意見文の根拠になることを理解する。 4年次の社会科で学習した千葉県の内容を振り返る。 具体例を挙げて感想と意見の違いを明確に意識させる。 	(知識・技能①)【カード】 <ul style="list-style-type: none"> 考えたことから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理している。
	4 (本時3/4)	○新聞や本、インターネット、映像から自分の考えを思考ツールを用いて整理し、意見文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや立場がはっきりしているか確認する。 文章全体の姿に着目させる。 	(主体的に学習に取り組む態度①)【発言】 <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く多様な文章や資料を読み比べて自分の考えをまとめている。 (思考・判断・表現②)【意見文】 <ul style="list-style-type: none"> 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。 (思考・判断・表現①)【意見文】 <ul style="list-style-type: none"> 事実や感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書いている。
	1	○世界遺産発掘調査団～千葉県世界遺産プロジェクト～調査報告会議を4年生へ行う。		(主体的に学習に取り組む態度①)【観察】 <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもって意見文を書き、友達と交流している。

7 本時の指導 (9/11)

(1) 目標

- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
[思考力・判断力・表現力等]

(2) 展開

時記	学習内容と学習活動	指導 ・支援 ○評価 (観点)【方法】	資料
2	【見いだす】 1 前時までの学習をふり返り、本時の学習のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習(「要点」「構成」)を確認し、計画表をもとに本時の学習の見通しを持たせる。 	学習計画表
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 千葉県を世界遺産にするために、意見文の根拠をまとめよう。 </div>		
3	2 意見文の構成や世界遺産にするための根拠について確認する。 <予想される児童の反応> <ul style="list-style-type: none"> 世界でもめずらしいもの 伝統的で魅力あふれるもの すごく美しい自然や自然現象 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の構成(はじめ・中・終わり)の基本を振り返らせ、意見文を作成するには、根拠が必要なことに気づかせる。 世界遺産の登録基準を再度確認し、根拠が書きやすいようにする。 	掲示物
5	3 前時までに作成したバタフライチャートを班で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> この後の意見文の発表で友だちの意見文を推敲する観点となるため、バタフライチャートを班で共有する。 参考として書けている児童のワークシートをTVモニターに写す。 	思考ツール 掲示物

10	<p>【自分で取り組む】</p> <p>4 思考ツールで分類分けした根拠を参考に意見文の加除訂正を行う。 (はじめ・中・おわり) <予想される児童の反応> ・「はじめ」は、主張したいことを書く。 ・「中」は、根拠を伝えるように書く。 ・「おわり」は、もう一度主張する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バタフライチャートが根拠、はじめ・中・おわりが視覚化でき、簡単な構成が書きやすいように PMI 表をビジュアルツールとして使用できるようにする。 ・文章を組み立てるのが苦手な児童には、穴埋めにしたものを渡し、自分の調べた内容だけを入れると完成するようにする。 <p>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。(思考・判断・表現②) 【意見文】</p>	TV モニターワークシート
20	<p>【広げ深める】</p> <p>5 加除訂正を加えた意見文をグループで発表し合い、良かった点・改善点を出し合い、次回の清書に活かす。 <予想される児童の反応> ・納得のいく根拠が書けていた。 ・意見文の構成を意識して書けていた。 ・根拠を2つか3つあるともっと意見として説得力があると思った。</p>	<p>○粘り強く多様な文章や資料を読み比べて自分の考えをまとめている。 (主体的に学習に取り組む態度①) 【発言】</p>	
5	<p>【まとめあげる】</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の整理をし、次時への意欲を高める。 	

(3) 板書計画

<p>○ミニ発表 へよかった点</p> <p>○意見文 「はじめ」 主張したいこと 「中」 根拠 「おわり」 もう一度主張</p> <p>○バタフライチャート</p> <p>○世界遺産になるためには ・世界でもめずらしいもの ・伝統的で魅力あふれるもの ・すごく美しい自然や自然現象</p>	<p>世界遺産発掘調査団 「ミッション!!!」 わたしたちの千葉県を世界遺産に!!!</p> <p>⑦ 千葉県を世界遺産にするために意見文の根拠をまとめよう。</p>
---	---

1 単元名 オリジナルストーリーをみんなに紹介しよう

(主な教材：あなたは作家 教育出版)

2 本単元における言語活動

写真を見ながら想像をふくらませ、展開を工夫して物語を作る。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B(2)イ)

3 単元について

(1) 単元観

本単元では、今まで重ねてきた読みや書き等の経験を生かして、自分で物語を書く活動を行う。物語文は中心人物の気持ちが大きく変わる場面を入れることが大切であるということは、「読むこと」の学習で学んできている。その「やま場」を自分で作り出すことは、今後の読書生活を豊かにすることにもつながると考える。自分で物語を作り出した児童は、物語の「やま場」を捉える目を養い、よい読者に育つと考えるからである。6年間で学んだことを総動員して物語を書く活動を行い、今後の読書生活の礎としたい。

主な内容としては、複数の写真から1枚を選び、その写真から浮かぶイメージを手がかりに物語の筋道、内容、表現等を工夫しながら、「始め」「展開」「山場」「終わり」という4つの構成でまとめて書いた物語を紹介し合う。紹介し合う対象は学級の友達であるが、児童と相談したうえで創作した物語を学校図書館にも展示し、全校にも紹介したいと考えている。

系統表の「B書くこと」における構成の検討については、第3学年及び第4学年では、「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること」と示されている。そして第5学年及び第6学年を経て、中学校1学年では「書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること」へと発展していく。

(2) 児童の実態 (事前調査13名) 4月実施

	質問	とても そう思う	思う	あまり 思わない	思わない
1	進んで国語の学習に取り組んでいますか。	1	4	6	2
2	自分の思いや考えを書くことは楽しいですか。	2	0	9	2
	2で選んだ理由 (とても思う・そう思う) ・思いを考えると色々な考えが生まれてワクワクするから。 ・自分の思いや考えを自由に書くことができるから。 (あまり思わない・思わない) ・思いや考えを言葉にして書くことが難しい。 ・書いたり考えたりすることが好きではない。 ・自分で思っても実際に書けない。 ・表現の仕方が難しい。 ・言葉が思いつかない。 ・自分の思いをみんなに知ってほしいけど、字をいっぱい書くのが好きではない。 ・字を書くのが嫌だ。 ・自分の気持ちを言葉にするのが難しい。 ・自分の思いが人に言えない。				
3	授業中に進んで発表していますか。	0	3	8	2
4	他の人が書いた文を読むことは楽しいですか。	3	3	5	2
5	経験したことや想像したことなどから書くことを見つけてことができますか。	2	6	5	0
6	伝えたいことが相手にわかるように、文章の構成を考えることができますか。	1	2	9	1
7	自分の思いや考えを書くことはできますか。	2	5	6	0
8	自分や友達の文章を読み、より良くなるように考えることができますか。	4	2	6	1
9	友達が書いた文章を読み、感想を伝えられますか。	1	7	4	1
10	読書は好きですか。	3	3	1	6

事前調査より、国語科の学習に苦手意識がある児童が多いことがわかる。本研究の核となる「書くこと」についての質問にも否定的な回答が多いことがわかる。特に、「書くことは楽しいですか」(質問2)や「文章の構成を考

えることができますか」(質問6)では「あまり思わない」と「思わない」をあわせると10名以上となっている。「書くことはできますか」(質問7)は7名の児童が肯定的な回答をしているが、日頃の様子を見ると、日記や作文を書くことや、文字を丁寧に書いたり、漢字を覚えたりすることを苦手とする様子が見られる。文字を書くより、タブレットPCでタイピングをしたり、発表資料を作ったりすることを好んでいる児童が多い。

「他の人が書いた文を読むことは楽しいですか」(質問4)、「友達が書いた文章を読み、感想を伝えられますか」(質問9)について肯定的な意見が半数程度おり、読んだり、伝えたりすることは好きな児童が多いことがわかった。

(3) 指導観

単元観や児童の実態から、以下の手立てを講じる。

① 単元の見通しをもたせる導入

主体的に児童が学ぶためには、与えられた指示に従って学習を進めるのみではなく、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、学習の導入においては、教師モデルを提示し、単元のゴールイメージをもたせることで、「オリジナルの物語を書いてみたい。」「こんな物語にしようかな。」といった書く活動に対する意欲を高めたい。書くことに苦手意識がある児童も「自分でも書けそうだな。」という気持ちをもつことができるように、単元始めの写真をもとに想像を膨らませる活動を全体で丁寧に行っていくようにする。また、児童と相談したうえで、創作した物語を学校図書館にも展示するなど、全校児童に紹介するというゴールを設定することで相手意識をもたせていきたい。

② 朝の会の時間等を活用した語彙・作文遊び

「書くこと」への抵抗感を減らし、少しでも楽しいと感じてもらいたい。そのために朝の会の時間等を活用し、スモールステップで「言葉集め」「漢字すい理作文」「楽しいテーマで意見文」に取り組んでいく。楽しく遊び感覚で行うことを念頭に置くが、伝わりやすい文の構成の大切さについても触れていきたい。

③ タブレットPCの活用

物語を書く際は、原稿用紙に手書きではなく、タブレットPCを用いてタイピングで書き進めていくことを基本とする。一マス下げ忘れや誤字脱字等による書き直しの負担を軽減し、書くことへの意欲を低下させないためである。原稿用紙の使い方や正しく文字を書くことも大切であるが、今回は物語の内容や意欲向上に重点を置くようにする。しかし、児童の中には手書きの方がやりやすい子もいるかもしれないので、自分に合った方法を選択できるようにしたい。

活用場面は記述の時だけではなく、構成の検討や推敲、共有場面でも活用していく。

4 単元の目標

- ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1)カ
- ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)オ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1)カ	①「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 (B(1)イ) ②「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (B(1)オ)	①積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題にそって写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。

6 指導と評価の計画 8時間扱い (本時2/8)

次時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法	
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ○教師モデルを提示し、学習の見通しをもつ。 ○教科書の写真を見て、気付いたことや想像したことを話し合う。 ○1枚の写真から、登場人物や人物設定を考える。(グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を創作することを伝え、活動の具体的なイメージをもてるようにし、意欲を高める。 ・個人で物語を創るときは自分で撮影した写真でもよいことを伝える。 ・児童から出た意見を称賛し、自信をもたせる。 ・物語の構成や山場の意味について、全体で確認する。(大造じいさんとがんを想起させる) ・主な読者は同世代が対象であることを伝え、適切な展開になるようにする。 ・写真には写っていない人物を設定してもよいことを伝える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [主体的に学習に取り組む態度①] 発表・観察 ・写真を見て、気付いたことや想像したことを友達と進んで話し合おうとしているかを確認する。 </div>
	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○物語の大まかな展開を考え、あらすじを書く。(グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成や山場の意味について、全体で再確認する。 ・始めと終わりを先に考えさせ、その変容が起こる山場を考えるようにすると構成しやすいことを確認する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [思考・判断・表現①] タブレットPC ・友達と話し合いながら、物語の始め、展開、山場、終わりを意識したあらすじが書けているかを確認する。 </div>
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> ○写真を選び、登場人物や人物設定を考える。(個人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真には写っていない人物を設定してもよいことを伝える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [思考・判断・表現①] タブレットPC ・物語の始め、展開、山場、終わりを意識したあらすじが書けているかを確認する。 </div>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○物語の大まかな展開を考え、あらすじを書く。(個人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成や山場の意味について、全体で再確認する。 ・始めと終わりを先に考えさせ、その変容が起こる山場を考えるようにすると構成しやすいことを再確認する。 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで話し合い、読者の視点も加え、あらすじの加除修正をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞くことで自分の考えが広がることを伝え、積極的に交流できるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [思考・判断・表現②] タブレットPC ・友達の意見を参考にし、内容や表現に一貫性があるか、適切な構成になっているかを確認する。 </div>
第三次	6・7	<ul style="list-style-type: none"> ○書き出しや表現の工夫について確認し、物語を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や既習の文学作品を取り上げて、表現の工夫によって、作品にどんな効果が表れているか確認させる。 ・山場を詳しく描くように指導する。会話文や心内語を入れると場面がより生き生きすることを助言する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [知識・技能①] タブレットPC ・語句の係り方や文と文のつながりが適切にできているかを確認する。 </div>
	8	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と物語を読み合い、感想を伝え合う。 ○物語を書く活動について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想の視点を確認する。 ・否定的な言葉は使わないように伝える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [思考・判断・表現①] タブレットPC ・友達の意見を参考にし、物語の始め、展開、山場、終わりを意識したあらすじが書けているかを確認する。 </div>
		<ul style="list-style-type: none"> ○友達と物語を読み合い、感想を伝え合う。 ○物語を書く活動について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想の視点を確認する。 ・否定的な言葉は使わないように伝える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [主体的に学習に取り組む態度①] 発言・観察・タブレットPC ・友達の物語を読み、積極的に感想を書いているかを確認する。 </div>

7 本時の指導 (2/8)

(1) 目標

- 筋道の通った文章となるように、友達と話し合いながら、文章全体の構成や展開を考えることができる。
[思考力、判断力、表現力等]

(2) 仮説との関わり

<仮説1>

書くことを明確にし、学習の見通しをもつことができれば、主体的に自分の考えを表現することができるだろう。

- 学習の導入で教師モデルを提示したり、単元の流れがわかる掲示物を活用したりすることで学習の見通しをもたせる。
- 児童と相談したうえで、創作した物語を学校図書館にも展示するなど、全校児童に紹介するというゴールを設定する。

<仮説2>

効果的にICT機器を活用することで、生き生きと自分の考えを表現することができるだろう。

- 一マス下げ忘れや誤字脱字等による書き直しの負担を軽減し、書くことへの意欲を低下させないために、タブレットPCを用いてタイピングで書き進めていくことを基本とする。活用場面は記述の時だけでなく、構成の検討や推敲、共有場面でも活用していく。
- タブレットPCを日常的に活用したり、ICT支援員と授業を進めたりすることで、自信をもって楽しく活動ができるようにする。

(3) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価（観点）【方法】	資料
5	<p>【見いだす】</p> <p>1 本時の学習と学習のめあてを知る。</p>	<p>・学習計画表を使いながら、本時の学習内容と課題について確認する。</p>	学習計画表 資料提示
	<p>構成を意識して、グループであらすじを考えよう。</p>		
20	<p>【広げ深める】</p> <p>2 グループごとに、あらすじを考える。</p> <p>・オクリンクプラスで、場面ごと（始まり、展開、山場、終わり）のシートに入力する。</p>	<p>・物語の構成や山場の意味について、全体で再確認する。</p> <p>・始めと終わりを先に考えさせ、その変容が起こる山場を考えるようにすると構成しやすいことを確認する。</p> <p>・自分たちのあらすじを振り返るための観点を確認する。</p> <p>・話し合いながらシートに随時入力するように伝える。</p> <p>・時間があれば、会話文や心内語を入れるよう伝える。</p>	タブレットPC
		<p>○友達と話し合いながら、物語の始め、展開、山場、終わりを意識したあらすじが書けている。</p> <p>（思考・判断・表現①）【タブレットPC】 《「努力を要する」と判断した児童生徒への手立て》</p> <p>・物語の始まり、または終わりをどのようにしたいのかを聞き、それを踏まえて中心人物の変化がわかるような書き方を助言す</p>	TV

15	3 グループごとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の話し方・聞き方の確認をする。 ・自分のグループのあらすじとの共通点・相違点や内容のよいところを考えながら聞くようにする。 ・グループの発表に対する感想を伝え合い、自分たちのあらすじのよいところに目を向けさせる。 	
5	<p>【まとめあげる】</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をすることで、次時への意欲につなげる。 ・本時の課題を振り返り、数名の児童を紹介する。 	ノート

(4) 板書計画

あらすじの観点

① 山場があるか。

② 登場人物が生かされた展開になっているか。

写真

物語の構成

① 始まり

② 展開

③ 山場

④ 終わり

最も盛り上がる重要な場面 (クライマックス)

始めと終わりの場面を比べて、中心人物の気持ちや行動が変化する場面。

オリジナルストーリーをみんなに紹介しよう

構成を意識して、グループであらすじを考えよう。

1 単元名 心がうごいたことを書こう
(教材：みじかい言葉で 教育出版)

2 本単元における言語活動

簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B (2) ウ)

3 単元について

(1) 単元観

本単元では、心が動いたことを短い言葉で書く活動を行う。家や学校生活の中で、わくわくしたり、ドキドキしたり、はっとしたりしたことなど心が動いた時に見たこと、したこと、感じたことを短い言葉で書くことがねらいである。そこで、自分の気持ちが素直に伝わる言葉を探す活動を行う。また、リズムを楽しみながら読んだり、様子を思い浮かべながら読んだりして、短い言葉で表現するよさやおもしろさを味わうことを大切にしていく。詩の創作活動を通して、言語感覚や想像力・認識力を育てたいと考える。詩を書いて終わりにするのではなく、書いた詩を友達と交換して読み合い、感想を伝えることで、「詩を書いてよかった」「また詩を書いてみたい」という意欲を高めることが重要であると考え。

系統表の「B書くこと」における考えの形成については、第3学年及び第4学年「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。」へと繋がる。

(2) 児童の実態 (事前調査16名) 10月実施

	質 問	とても思う	思 う	あまり思わない	思わない
1	すすんで国語の学習に取り組んでいますか。	7	9	0	0
2	自分の思いや考えを書くことは楽しいですか。	4	8	2	2
3	授業中に進んで発表していますか。	6	9	1	0
4	他の人が書いた文を読むことは楽しいですか。	8	6	2	0
5	経験したことや想像したことなどから書くことを見つけることができますか。	10	5	1	0
6	伝えたいことが相手にわかるように、文章の構成を考えることができますか。	6	9	1	0
7	自分の思いや考えを書くことはできますか。	9	6	0	1
8	自分や友達の文章を読み、より良くなるように考えることができますか。	10	5	1	0
9	友達が書いた文章を読み、感想を伝えられますか。	9	6	1	0
10	読書は好きですか。	14	2	0	0

実態調査から、すべての児童が国語科の学習に意欲的に取り組んでいることがわかる。「経験したことや想像したことなどから書くことを見つけることができる」(質問5) 児童が多いことがわかった。普段の学習でも、行事などの絵日記等を書く際、書くことをすぐに決めて書き始める児童がほとんどである。一方、「書くこと」については、「自分の思いや考えを書くこと」(質問2) に楽しさを感じることができない児童が25%と多い。「考えることが難しいから」「時間がかかりすぎるから」「はずかしいから」ということがその理由としてあげられている。国語科の学習は好きではあるが、「書くこと」については抵抗感や苦手意識をもつ児童がいることがわかった。

(3) 仮説との関わり

<仮説1>

書くことを明確にし、学習の見通しをもつことができれば、主体的に自分の考えを表現することができるだろう。

- ・ 作品作りにおいて、学校生活でうれしかったことや楽しかったこと、おもしろかったことなど多様な「心がうごいたこと」を許容する。
- ・ 導入時にこれまでに経験した様々な場面について全員で想起して、その時にしたこと、見たこと、話したこと、聞いたことやその時の気持ちなどを思い出せるようにし、書くことの見通しがもてるようにする。
- ・ 言葉遊びを取り入れ、楽しみながら様々な表現の仕方に触れることができるようにする。

<仮説2>

効果的にICT機器を活用することで、生き生きと自分の考えを表現することができるだろう。

- ・タブレットPCを日常的に活用し、抵抗感なく操作できるようにする。
- ・「心がうごいたこと」や「言葉遊び」で考えた言葉をタブレットPCに入力し、児童が考えた言葉を互いに見ることができるようにする。この活動で、様々な場面について思い出し、また、自分が考えつかなかった言葉（表現）を知り、語彙を豊かにすることができるようにしていく。

(4) 指導観

単元観や児童の実態から、以下の手立てを講じる。

①朝の学習時間（15分間）を活用した「言葉集め」

普段の作文学習で「楽しかった」「すごかった」という表現が感想の大半を占めるなど、語彙力不足が認められる。そこで、語彙を増やすために「△から始まる言葉集め」を行う。例えば「あ」から始まる言葉を3分間でいくつ見つけることができるかチャレンジしてみる。見つけた言葉を友達と紹介し合うことにより、互いに語彙力を高めることが期待できる。

②学習の見通しを明確にもたせる導入

今回の学習では、互いに共感や情報の共有ができる学校生活に絞って作品作りを行うようにする。教科書の3つの作品で表現されている「繰り返し」「音の表現」「なりきり」など、多様な詩のよさを味わい、形にとらわれずに多様に表現してよいことを伝える。また、「言葉遊び」を行い、いろいろな表現方法に触れることができるようにする。さらには、リズムを楽しみながら読んだり、様子を思い浮かべながら読んだりして、短い言葉で表現するよさやおもしろさを味わえるようにしていく。書いた作品は友達や家族に読んでもらうことをあらかじめ児童に知らせ、相手意識をもたせるようにする。

③タブレットPCの活用

前述したように、「心がうごいたこと」の表現として、「楽しかった」「すごかった」しか思い浮かばない児童が多い。そこで、各学校行事について「心がうごいたこと」の表現を考え、タブレットPCに入力していく。全員の考えを画面に映して共有し、また、タブレットPCでいろいろな友達の書いたことをいつでも見ることができるようにしておく。同じ行事でも自分とは異なる感じ方や表現の仕方を知ることにより、表現のバリエーションを増やすことができると考える。作品を作る段階でこの情報を参考にすることが、より生き生きと思いを表現できる一助になることが期待できる。

4 単元の目標

- ・言葉には事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
[知識及び技能] (1) ア
- ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
[思考力、判断力、表現力等] B (1) ウ
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
[学びに向かう力、人間性等]

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1) ア	①「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B (1) ウ)	①進んで心が動いたことを短い言葉で工夫して書き、学習課題にそって、友達の作品のよさを見つけて伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画 5時間扱い (本時 3/5)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一 次	1	○学習活動の見通しをもつ。 ○教科書の三つの詩を読み、感想を書く。 ○書いた感想を発表し、内容について話し合う。	・リズムを楽しんだり、様子を思い浮かべたりしながら音読するなど、短い言葉で表現するよさやおもしろさを味わわせる。 ・教科書の作品のおもしろさや表現の特徴に着目させる。 ・作者は何を感じて心が動いたのか、それをどのようにして書いたのか全体で話し合う。	[知識・技能①] 発言・観察 ・三つの詩を比べて、それぞれの表現の特徴やおもしろさに気付いている。
第二 次	2	○「心がうごいたこと」を書くときの表現を集める。 ○言葉遊びをする。	・わくわくしたり、ドキドキしたり、はっとしたりしたことを思い出すように促す。 ・タブレットPCに入力して互いに見合い、いろいろな表現があることに気づくようにさせる。 ・見立て遊びをし、いろいろな見方ができることを伝える。	[主体的に学習に取り組む態度①] 発言・観察・タブレットPC ・心が動いたことを短い言葉で書くことに興味をもっている。
	3 (本時)	○言葉遊びをする。 ○心が動いたことを短い言葉で書く。	・なりきりや音遊びをし、いろいろな表現の仕方があることを確認させる。 ・経験したことの中から、「心がうごいたこと」を探して、書きたいことを決める。 ・「楽しかった」「おもしろかった」というような一般的な表現ではなく、自分の気持ちを素直に表現する言葉を探し、用いるようにさせる。 ・書くことが難しい児童には、前時の学習で活用したタブレットPCを使い、その時の自分の気持ちに合う表現を探すように促す。	[思考・判断・表現①] ノート ・「心がうごいたこと」を、表現を工夫しながら短い言葉で書くことができています。
	4	○書いた作品を読み返す。 ○作品を清書する。	・友達と作品を読み合い、推敲する。 ・更に取り入れたい表現などがあれば、書きかえるよう促す。	[主体的に学習に取り組む態度①] ノート・発言 ・書いた作品を読み合い、アドバイスし合うことでよりよいものにしてしようとしている。
第三 次	5	○完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。 ○心が動いたことを短い言葉で書く活動について学習を振り返る。	・よさを見つける観点を提示する。	[主体的に学習に取り組む態度①] 発言・観察 ・友達作品のよさを見つけ、感想として伝えられている。

7 本時の指導 (3/5)

(1) 目標

「心がうごいたこと」を、表現を工夫しながら短い言葉で書くことができる。

[思考力、判断力、表現力等]

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価 (観点) 【方法】	資料
3	<p>【見いだす】</p> <p>1 本時の学習と学習のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画表を使いながら、本時の学習内容と課題について確認する。 	学習計画表
	<p>「心がうごいたこと」を、みじかい言ばでくふうして書こう。</p>		
15	<p>【広げ深める】</p> <p>2 言葉遊びをする。</p> <p>①なりきり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○になりきって一言 <p>②音遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> (机をたたいて) どんな音? 	<ul style="list-style-type: none"> 詩の題材に関連する言葉遊びをするようにさせる。 2つの遊びを通して、遊び感覚で楽しみながら考えるように促す。 考えた言葉をタブレットPCに入力することを確認する。 考えた言葉を、互いに見合うように声をかける。 TV画面に児童の言葉を映し出し、いろいろな発想を共有するようにする。 	タブレットPC TV
25	<p>【自分で取り組む】</p> <p>3 学校生活の中から「心がうごいたこと」を探して書きたいことを決め、短い言葉で工夫して書く。</p> <p>①書くできごとを決める。</p> <p>②気づいたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したこと ・見たこと ・話したこと ・聞いたこと ・気持ち など 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の工夫を確認し、作品作りに取り入れるよう促す。 その時の様子や気持ちなどがわかるように短い言葉で工夫してノートに書くようにさせる。 前時に考えたいろいろな表現や、言葉遊びで考えた表現を活用するように促す。 	<p>提示資料 (書き方の工夫)</p> <p>掲示資料 (教科書の作品)</p>
	<p>○「心がうごいたこと」を、表現を工夫しながら短い言葉で書くことができている。(思・判・表) 【ノート】</p>		
	<p>《「努力を要する」を判断した児童への手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材を選んだり書いたりできない児童には、個別に言葉遊びを一緒に行い、楽しそうな題材を一緒に考えるようにする。また、教科書の作品のおもしろさや表現の特徴を思い出すよう促す。 		
2	<p>【まとめあげる】</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、数人の児童の作品を紹介する。 次時は友達と作品を読み合い、加除訂正して作品を仕上げることを伝える。 	

(4) 板書計画

みじかい言ばで

「心がうごいたこと」を書こう。

○心がうごいたできごと

「

○気づいたこと

- ・ したこと…
- ・ 見たこと…
- ・ 話したこと…
- ・ 聞いたこと…
- ・ 気もち…

○くふうしてみじかい言ばで書く

〈書き方のくふう〉

- ・ 同じ言ばをくりかえす (リズムがよい)
- ・ 「○○よりも」 とくらべる (そうぞうしやすい)
- ・ 音を言ばにする (わかりやすい)
- ・ 何かになったつもり (おもしろい)
- ・ 題名もみじかく書く

【教師見本（メモ）】

①

書き出し(クイズ)

何かわかるかな。
ヒントは車。



写真①

②

写真②



③

不思議に思ったもの

「車のナンバープレート」

不思議に思ったこと

- ・なぜ、前と後ろについているのか。
- ・なぜ、白と黄色があるのか。

④

取材してわかったこと

- ・ナンバープレートが前にも後ろにもあると、どちらからも見やすい。
- ・文字が大きくて見やすい。

⑤

調べてわかったこと

- ・ナンバープレートの色
 - 白地に緑字・・・ふつう車
 - 黄地に黒字・・・軽自動車
 - 緑地に白字・・・バスやタクシー
 - 黒地に黄字・・・バスやタクシーの軽自動車
 - 青地に白字・・・外交官の車
- ・なぜ、色分けしているのか。
高速料金のちがいと、制限速度のちがいがあるから。

⑥

場所



車の前と後ろの真ん中

⑦

終わり(一言メッセージ)

他にもいろいろな柄(がら)のナンバープレートがある。みんなも見てね。

⑧

☆教師見本を提示してイメージを持たせた後、色分けしたカードを児童に送り、不思議に思ったことや調べたこと、写真等を分類しながら、オクリンク+に記録できるようにした。

【不思議ずかん チェックシート】

「おぞら山不思議ずかん」を作ろう		名前		
子どもチェックシート		自分	友	友
・読者の心をよむ文章を、読む方も楽しめるように書かされた。				
・「FOOD」の「P」が、お金のことを指しているように書かされた。				
・「不思議ずかん」が、お金のことを指しているように書かされた。				
・お金のことを指しているように書かされた。				
・「不思議ずかん」が、お金のことを指しているように書かされた。				

【児童の作品】





日じょうを助けてくれているひそかなヒーロー

これは何でしょう。

ヒントはつくえとセットになっているものどこの穴ですか。

なんと、この写真はいすのあじのうらの穴です。

写真①を見て下さい。特ちょうはけ、こうおく深くまで穴があいていて、四角い穴があいています。穴のまわりには、なにもありません。穴は、でこぼこして、ぶくざつな形をしています。どうして穴はあるのでしょうか……？

理由は、穴があいていると、イスが引きやすくなったり、授業中の疲れを軽くしてくれたり、「聞く」「書く」のしせいを正しく導びびてくれます。その理由から学校のイスには、穴があいているのです。

へー！メッセージ！

いつもみんなが、学校で使っていて、全然気にしていないと思いますが、いろいろな大事な役わりを果たしてくれています。見たときは心の中でお礼を言ってみて下さい。

(参考資料)

「コトブキシーティング株式会社」 <https://www.kotobuki-seating.co.jp/classroom>

著者()

【教師見本（白神山地）】

①



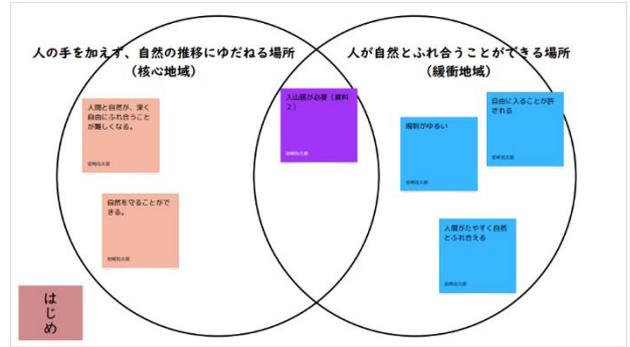
②



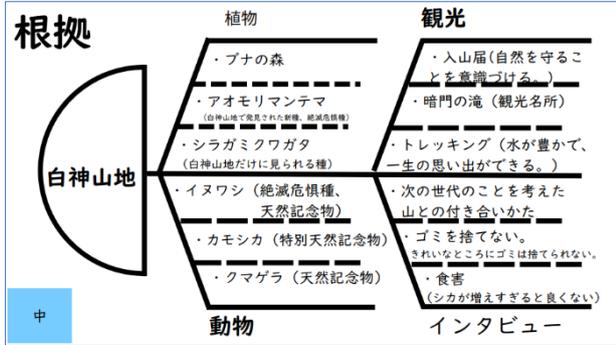
③

第三次 (6)	第二次	第一次	学習過程
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産発掘調査団 ・千葉県世界遺産プロジェクト調査報告会議を四年生へ行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーブで考えを出し合い、自分の考えをまとめる。 ・自分たちの住んでいる千葉県を世界遺産にするために、調べ学習を行い、意見文を書くことを確認する。 ・新聞や本、インターネット、映像から自分の考えを思考ツールを用いて整理し、意見文を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の最後に、世界遺産発掘調査団 ・千葉県世界遺産プロジェクト調査報告会議を開催し、意見を交換し合うことを理解する。 ・白神山地の1つの文庫を読み、自然保護の方法について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この動画をみて、白神山地がどのような場所なのかイメージしやすくなります。 ・学習の最後に、世界遺産発掘調査団 ・千葉県世界遺産プロジェクト調査報告会議を開催し、意見を交換し合うことを理解する。

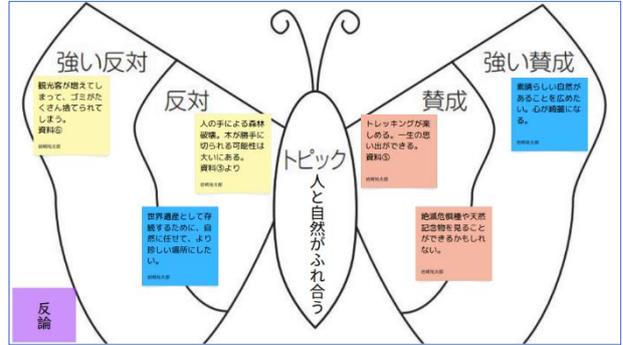
④



⑤



⑥



⑦

はじめ

中

反論

終わり

5-1 岩崎 祐太郎

ぼくは、白神山地を守るためには、自然と人がふれ合っていくことが大切だと考え、そう考える一つの理由は、貴重な動物や植物をみる事ができるからだ。特別天然記念物であるカモシカや絶滅危惧種のイヌワシ、白神山地で発見された絶滅危惧種のアオモリマンテマなどが生息している。白神山地でしか見ることができない動物が多くあり、行く価値がそこにあると考える。

二つめの理由は、世界遺産が、自然をただ守るだけではなく、人々と直接、自然にふれさせている自然の素晴らしさや大切さを体験してもらい、自然保護の気運を高める役割も持っているという考えがあるからである。(資料1)

確かに、資料3や資料4のように誰でも自然とふれ合えるようにすると悪質な森林伐採やゴミの問題が起こるかもしれない。しかし

⑧

はじめ

中

反論

終わり

5-1 岩崎 祐太郎

資料4のように観光客が増えて、自然にふれ合う素晴らしさを感じたい人がたくさんいることや資料5のように「一生の思い出」ができる人もいます。資料6の工藤さんのインタビューにある、「きれいなところにはゴミは捨てられない。」という言葉にあるように愛着を作って、守っていくようにするべきである。

以上のことから、ぼくは、これからも白神山地は、人と自然がふれ合いながら共存していく方がよいと考える。

【世界遺産の基準】 ☆canva の中に入れておき、いつでも確認できるようにした。

世界遺産に登録されるためのルールは、全部で10個あります。この中から1つでも当てはまると、世界遺産になるチャンスが出てきます。簡単に言うと、「すごい建物や自然」が選ばれるんだよ！

建物や文化についてのルール（文化遺産）

1. 世界中の人がびっくりするくらいすごい建物 があること。
(例：ピラミッドやお寺)
2. いろんな国や文化が交流した証拠があること。
(例：昔の貿易路「シルクロード」)
3. 大昔の人の暮らしや文化が分かる場所があること。
(例：古代の町や村の跡)
4. 昔の建物や技術が分かる特別な場所であること。
(例：お城や橋)
5. 今ではなくなりそうな昔の村や家が残っていること
(例：昔ながらの村や棚田)
6. 歴史で大切な出来事や考え方に関係がある場所であること。
(例：平和を願う広島原爆ドーム)

自然についてのルール（自然遺産）

7. 見た人が感動するくらい美しい自然 があること。
(例：きれいな山や川)
8. 地球がどうやってできたかが分かる場所であること。
(例：火山や氷河)
9. 動物や植物がどんなふうにいるかが分かる場所があること。
(例：動物がたくさんいる草原や森)
10. 世界中の動物や植物を守るのに大切な場所であること。
(例：ジャングルやサンゴ礁)

世界遺産になるには？

1. その国が「これを世界遺産にしたい！」と候補を出す。
2. 専門家たちが「本当にすごいか」を調べる。
3. OKが出ると、「世界遺産」に選ばれる！

ポイント

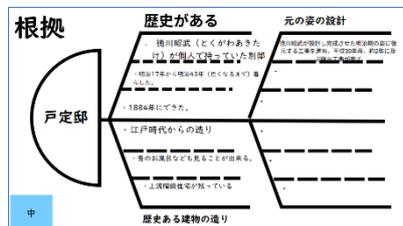
「世界みんなが大切にしたい」と思う場所が世界遺産になるんだね！

【児童の作品】

①



②



③

資料①

戸定邸は明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る日本で唯一の建物

④

資料②

昭武が将軍名代として派遣されたパリ万博に関する資料や、戸定邸の歴史を語る文書などが残されている

⑤

資料③

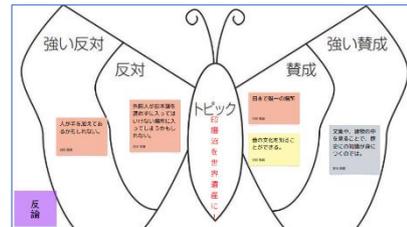
当時のお風呂なども見ることができ、とても貴重な体験ができる

⑥

資料④

上流階級住宅が現在も残っているのは、奇跡のようなこと。実際、国の名勝となっている

⑦



⑧

はじめ
中
反論
終わり

私は戸定邸を世界遺産に推薦する理由を述べ、その理由として、歴史や文化、建築などについて詳しく説明し、その重要性を強調している。また、その価値を伝えるために、具体的な事例や資料を引用している。そして、その価値を伝えるために、具体的な事例や資料を引用している。そして、その価値を伝えるために、具体的な事例や資料を引用している。

⑨

はじめ
中
反論
終わり

私は戸定邸を世界遺産に推薦する理由を述べ、その理由として、歴史や文化、建築などについて詳しく説明し、その重要性を強調している。また、その価値を伝えるために、具体的な事例や資料を引用している。そして、その価値を伝えるために、具体的な事例や資料を引用している。

☆canva のファイルの中に思考ツール・調べた資料・意見文が入っているので、児童も教師も見返ししやすい。